日本糖尿病学会　国際交流委員会
EASD 2026 Community Plaza ブース出展報告書

作成日：2026 年 10 月 20 日

出張者：事務局　金子

◆　スケジュール

出展先：The 62nd EASD Annual Meeting 2026 in Milan, Italy

設営日：2026 年 9 月 28 日（月）

公開日：2026 年 9 月 29 日（火）～10 月 2 日（金）8:00～18:30　※最終日 14:00 まで

会　場：ブース番号 07, EASD Community Plaza, Exhibition Hall

Presidential Tour：10 月 1 日（木）10:30～12:30

◆　掲示物

ポスター	学会活動紹介（2 枚組） 第 5 次「対糖尿病戦略 5 ヵ年計画」（2 枚組） 第 70 回年次学術集会
配布物	学会活動紹介リーフレット（60 枚） 第 5 次「対糖尿病戦略 5 ヵ年計画」リーフレット（50 枚） 第 70 回年次学術集会チラシ（50 枚） 英文誌チラシ（50 枚） 英文論文別刷り（30 部）、見本本（10 冊） 英語 inquiry 用ビジネスカード　（全て英語版）
ノベルティ	ポケットティッシュ（100 個）、折り鶴（100 羽）



◆　担当者

事務局員 1 名、会員からの公募担当者 2 名

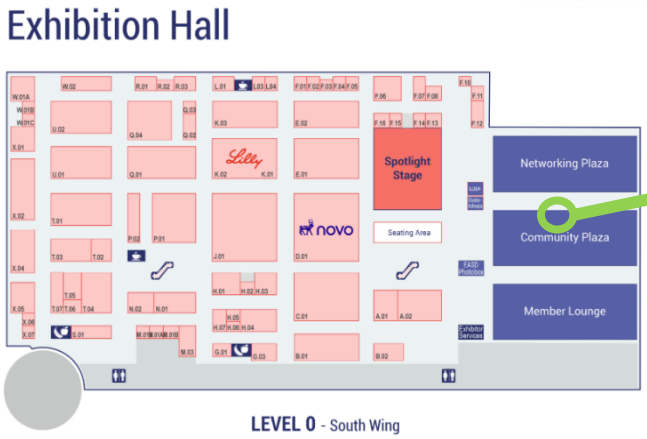
◆　ブース担当者の公募

若手会員の海外学会参加支援策として、日本糖尿病学会（以下 JDS）の理事・監事の推薦によりブース担当者を募集し、次の 2 名を選出した。旅費・大会参加費は JDS が支援し、ブース駐在担当をしながら学会に参加した。

植木　響政会員　　順天堂大学大学院　代謝内分泌内科学
四方田　美和子会員　　島根大学医学部内科学講座内科学第一

◆　**ブース設置エリア**

EASD 所属団体のブースは、エキシビジョンホール（企業展示、ポスターなどのエリア）内の Community Plaza に設置され、計 40 ブース出展した。来訪者が主に利用するエスカレーターの降り口が企業展示エリア側に向いていたため、Community Plaza は目立ちにくい位置にあったが、初日の来訪者は約 52 名と昨年（44 名）を上回り、盛況だった。





◆　**展示・配布物への反応**

- 学会活動や日本の糖尿病の状況などの基本情報をポスター・ハンドアウトにそれぞれまとめ、質疑応答の主資料として使用した。
- 年次学術集会の開催日・開催地の質問が多く、チラシの配布も 40 枚と配布物の中で最も多かった。
- 学会活動を紹介する際、第 5 次「対糖尿病戦略 5 ヵ年計画」のポスターに沿って説明すると来訪者に伝わりやすく、有効であった。
- EASD・EFSD との共同事業の説明資料としてフリップ 1 枚を持参したところ、来訪者への説明に役に立った。
- EASD 所属団体の多くは主にチラシを配布しており、来訪者向けのノベルティを用意している団体は少なかった。JDS はポケットティッシュ・折り鶴を配布し、来訪者から好評を博した。

◆　**ブース来訪者数（日別）**

9 月 29 日：約 52 名
9 月 30 日：約 35 名

10 月 1 日：約 26 名

10 月 2 日：1 名　※企業展示が 3 日目で終了のため、12 時に撤収

アジア	インド、韓国、中国、日本、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン
中東	アラブ首長国連邦、イスラエル、イラク、イラン、クウェート、トルコ
アフリカ	アルジェリア、エジプト
ヨーロッパ	アイルランド、アゼルバイジャン、イギリス、イタリア、オーストリア、クロアチア、スペイン、デンマーク、ドイツ、フィンランド、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、リトアニア
北アメリカ・中南米	アメリカ、アルゼンチン、カナダ、ブラジル、メキシコ

◆ **来訪者からの主な質問**

【学会・学術集会】

- JDS の活動概要
- 第 5 次「対糖尿病戦略 5 ヵ年計画」とは
- 次回年次学術集会の開催時期・開催地
- 年次学術集会は国際学会か、英語のプログラム・セッションはあるか
- 年次学術集会は外国人や患者も参加可能か
- 日本内分泌学会との関わりはあるか
- どのような助成（グラント）を行っているか

【EASD・EFSD との共同事業関連】

- JDS・EFSD はどのような共同事業を行っているか
- EASD への日本人医師の派遣の要望

【ガイドライン・学会誌・研究など】

- Diabetology International（英文誌）は国際ジャーナルか
- 英文誌の別刷り（インクレチン特集）とは
- JDS の診療ガイドラインに英語版はあるか

【日本の糖尿病に関する情報】

- 2 型糖尿病患者数とその推移（増加しているか）
- 糖尿病有病率
- 糖尿病足壊疽の状況

【治療・保険・制度など】

- 日本における糖尿病の治療法
- インスリン・GLP-1 受容体作動薬は政府から供給されているか、また保険適用されるか
- 1 型糖尿病にインスリン以外の治療法はあるか

【その他】

- 他の学会の開催情報（ATTD-Asia・ICDM・日本内分泌学会学術総会・日本で開催される直近の国際学会）
- 日本で留学を受け入れている施設はあるか
- 糖尿病看護に関する協会・団体はあるか
- JDS と特定の製薬企業との協力関係はあるか、その企業の日本拠点はどこか
- 折り紙にまつわる禅の物語の紹介

◆ **今後に向けて**

- 海外学会への日本人の参加を促すため、参加支援施策や開催情報の周知活動を継続する。
- 学会活動紹介リーフレット・インクレチン特集は約半数、英文誌チラシ・第 5 次「対糖尿病戦略 5 ヵ年計画」リーフレットが半数以上残ったため、今後は積極的な資料の配布や、部数の見直しを図る。
- 年次学術集会の英語プログラムの有無・国際学会かどうかに関する質問が多かった。海外参加者向け情報の発信を強化する。
- 年次学術集会の案内とあわせて、Joint EASD and JDS Symposium についても口頭で案内し、告知の効果を高める。
- 同じ資料をテーブルにも設置していたが、来訪者はラックに設置した資料を手に取ることが多かった。引き続き、来訪者が資料を手に取りやすい展示方法を工夫する。

以上